

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	創発的研究支援事業			担当部局庁	研究振興局		作成責任者
事業開始年度	令和元年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	学術研究推進課		学術研究推進課長 田畑 磨
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	「国立研究開発法人科学技術振興機構法」第25条 「科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律」第27条の2			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 研究力向上改革2019(平成31年4月) 研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ(令和2年1月23日閣議決定) 統合イノベーション戦略2023(令和5年6月9日閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針2023(令和5年6月16日閣議決定) 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2023改訂版(令和5年6月16日閣議決定)		
政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化			主要経費	科学技術振興費		
施策	8-2 基礎研究・学術研究の振興						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-04.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	特定の課題や短期目標を設定せず、自由で挑戦的・融合的な構想にリスクを恐れず挑戦し続ける独立前後の多様な研究者を対象に、最長10年間の安定した研究資金と、研究者が研究に専念できる環境の確保を一体的に支援することで、優れた人材の意欲と研究時間を最大化し、多様性と融合によって破壊的イノベーションにつながる成果の創出を目指す。						
現状・課題 (5行程度以内)	科学技術・学術政策研究所の「科学技術指標2022」によると、日本の論文数は横ばいであり、他国・地域における論文数の増加により順位を下げていること、注目度の高い論文数(Top10%論文数及びTop1%補正論文数)で日本の順位の低下が顕著であることが指摘されている。同研究所の「科学技術の状況に係る総合的意識調査(NISTEP 定点調査2022)」では、学術研究・基礎研究について、「新たな課題の探索・挑戦的な研究を行うための環境」、「基礎研究の多様性」などに関し不十分との強い認識が示されている。一方で、前年度よりも状況が上向きになっているとの回答もあり、その理由として「JST創発的研究支援事業の整備」が複数挙げられているなど、本事業への期待が示されている。こうしたことから、我が国の研究力を向上するため、創発的研究支援事業の一層の推進が必要である。						
事業概要 (5行程度以内)	研究資金と研究環境の一体的な支援によって、研究者の自由な発想に基づく挑戦的な研究を強力に推進する。 具体的には、原則7年間(最長10年間)の長期的な研究資金を支援するとともに、採択研究者の研究時間確保など研究環境改善に努めた所蔵機関を追加的に支援することで機関の取組を引き出しつつ、創発的研究の遂行にふさわしい適切な研究環境の確保を促す。 加えて、創発的研究を促進するため、研究者のメンタリング等を行うプログラムオフィサーの下、研究者の能力や発想を組み合わせる「創発の場」を設けることで、創造的・融合的な成果に結びつける取組を推進する。また、柔軟な研究中断とそれに伴う延長制度等、ライフイベントに配慮した支援を導入している。						
事業概要URL	https://www.jst.go.jp/souhatsu/outline/index.html						
実施方法	補助						
補助率等	科学技術振興機構(JST)が実施する創発的研究支援事業について、当該経費を補助【定額補助】						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	60	60	60	227	1,318
		補正予算(B)	13,354	5,280	55,344	574	
		令和5年度第1次補正予算				574	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	13,414	5,340	55,404	801	1,318	
	執行額(G)	13,414	5,340	55,404			
	執行率(%) =(G)/(F)	100%	100%	100%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	100%	100%	100%			
	令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)	
(項)		研究振興費			※金額は単位未満を四捨五入していることから、合計が一致しない場合がある。 要求額のうち「重要政策推進枠」:1,125百万円		
(目)		創発的研究推進基金補助金	227	1,318			
		その他					
計(A)		227	1,318				

活動内容① (アクティビティ)		大学等の研究機関における独立した又は独立が見込まれる若手を中心とする研究者の「創発的研究」について、研究者が研究に専念できる環境を所属機関と連携して確保しつつ、原則7年間研究費等の支援を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		創発的研究課題の採択・交付	研究課題の採択件数	活動実績	件	252	259	263	－	－
				当初見込み	件	200	250	250	250	250
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	本事業では、研究に専念できる環境を所属機関と連携して確保するため、採択研究者の研究環境改善に努めた所属機関を追加的に支援することにより、各機関の取組を引き出す仕組みを設けている。 効果発現の初期段階として、本事業への採択を契機に、所属機関による研究環境改善に係る支援が充実すると考えられるため、所属機関から研究環境改善に係る支援を受けた研究者の割合を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		採択された研究者の所属機関による研究環境改善に向けた支援の状況	ステージゲート審査までに所属機関から研究環境改善に係る支援を受けた研究者の割合※	成果実績	%	－	－	－	－	
				目標値	%	－	－	－	70	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		国立研究開発法人科学技術振興機構の調査による ※研究開始からSG審査(研究開始3年度目に実施)までに支援を受けた割合を指標としているため、令和2年度公募による採択者がSG審査を迎える令和5年度に目標値を設定し、当該年度に実績測定する。 なお、令和5年度より、国立研究開発法人科学技術振興機構が調査予定								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	長期的な研究費及び所属機関からの支援により、研究に専念できる研究環境が形成され、研究成果の創出に向け腰を据えて挑戦的な研究へ取り組むことが可能になると考えられるため、採択された研究者による、職務活動全体に占める研究活動時間の割合の平均を中期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		研究者が創発的研究に集中できる研究環境が形成される	採択された研究者による、職務活動全体に占める研究活動時間の割合の平均※	成果実績	%	－	－	－	－	
				目標値	%	－	－	－	45	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		国立研究開発法人科学技術振興機構の調査による ※研究機関からの支援(短期アウトカム)等により、研究に専念できる研究環境を確保し、SG審査後のフェーズ開始年度において研究時間が確保できていることを指標とするため、令和2年度公募による採択者が研究開始4年度目を迎える令和6年度目標値を設定し、当該年度に実績を測定する。 なお、令和4年度における令和2年度公募採択者の職務活動全体に占める研究活動時間の割合の平均は63%である								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	創発的研究に集中できる研究環境が形成され、腰を据えて挑戦的な研究に打ち込むことが可能となることにより、優れた人材の意欲と研究時間を最大化し、破壊的イノベーションに繋がる成果が創出され、我が国の研究力の向上に繋がると考えられることから、インパクトのある論文が出されたとみなされるなど、優れた進捗が認められる課題数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
		破壊的イノベーションに繋がる成果の創出	有識者による評価により、インパクトある論文が出されたとみなされるなど、優れた進捗が認められる課題数	成果実績	件	－	－	－	－	
				目標値	件	－	－	－	25	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		国立研究開発法人科学技術振興機構の調査による								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容② (アクティビティ)		大学等の研究機関における独立した又は独立が見込まれる若手を中心とする研究者の「創発的研究」について、研究者が研究に専念できる環境を所属機関と連携して確保しつつ、原則7年間研究費等の支援を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		創発的研究課題の採択・交付	研究課題の採択件数	活動実績	件	252	259	263	－	－
				当初見込み	件	200	250	350	250	250
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	PO(プログラム・オフィサー)やAD(アドバイザー)によるメンタリングや創発研究者同士が互いに切磋琢磨し相互触発する場(「創発の場」)の提供等により、長期的な研究支援の過程における成果創出の最大化が期待されることから、POやAD等による進捗管理を受けたり、「創発の場」に参加した研究者の割合を短期アウトカムに設定した。								
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		PO・AD等によるメンタリング及び「創発の場」の開催による創発研究者への支援	POやADによる進捗管理を受けた又は、「創発の場」に参加した研究者の割合	成果実績	%	－	－	100	－	
				目標値	%	－	－	95	95	
				達成度	%	－	－	105.3	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		国立研究開発法人科学技術振興機構の調査による								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	PO・ADのマネジメントや交流の場の提供等による研究進展への寄与を測定する指標として、本事業に対する満足度を中期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		PO・ADのマネジメントや「創発の場」が機能することによる創発研究の更なる進展	創発研究者の本事業に対する満足度	成果実績	%	－	－	－	－	
				目標値	%	－	－	－	80	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		令和5年度より、国立研究開発法人科学技術振興機構が調査予定であるため、実績値は令和5年度より記載する								
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	PO・ADによる長期的な視点での統括や、個人研究者の能力や発想の組み合わせによる研究の加速が図られ、優れた人材の意欲が最大化されることにより、破壊的イノベーションに繋がる成果の創出や、我が国の研究力の向上に繋がると考えらえることから、インパクトのある論文が出されたとみなされるなど、優れた進捗が認められる課題数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
		破壊的イノベーションに繋がる成果の創出	有識者による評価により、インパクトある論文が出されたとみなされるなど、優れた進捗が認められる課題数	成果実績	件	－	－	－	－	
				目標値	件	－	－	－	25	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		国立研究開発法人科学技術振興機構の調査による								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

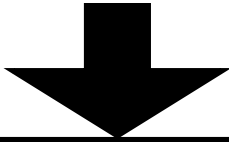
活動内容③ (アクティビティ)		採択された研究者のメンタリング等を行うプログラムオフィサーの下、個人研究者の能力や発想を組み合わせる「創発の場」を設けることで、研究者の交流を促進し、創造的・融合的な成果に結びつける取組を促進する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		研究者の交流を促進する場の設定	創発の場(パネル・融合)への参加者数	活動実績	人	－	662	698	－	－	
				当初見込み	人	－	250	500	750	750	
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	まずはPOのマネジメントの下、研究者交流の機会である「創発の場」を実施することにより、創造的・融合的な成果創出に向けた創発研究者の切磋琢磨や相互触発が促進され、研究者の自発的な融合への発展が期待されることから、効果発現の初期段階として、研究者主導による融合の場への参加者数を短期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度		
		研究者の自発的な融合	研究者主導による融合を促進する場への参加者数	成果実績	人	－	－	381	－		
				目標値	人	－	－	200	200		
				達成度	%	－	－	190.5	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		国立研究開発法人科学技術振興機構の調査による									
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	研究者同士の交流・融合の機会により、創発研究者の能力や発想の組み合わせによる新たな知の発掘が一層進展すると考えられることから、融合の機会から進展した創発研究者同士の共同研究実施者数を長期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度		
		創発研究者の融合による新たな知の 発掘	創発研究者同士の共同研究 の実施者数	成果実績	人	－	－	－	－		
				目標値	人	－	－	－	100		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		国立研究開発法人科学技術振興機構の調査による(成果実績は累計)									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									
		－									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	－									
	URL	－									
	該当箇所	－									

事業所管部局による点検・改善																												
点検結果	アクティビティ①～③について、順調に推移している。 事業の推進にあたっては、事業運営法人に設置される、外部有識者からなる創発運営委員会において議論を行い、制度の最適化に努めている。また、事業の趣旨に沿った、若手研究者を中心とした挑戦的な研究への支援が着実に実施されており、適切な事業運営がなされている。																	目標年度における効果測定に関する評価（令和7年度実施）										
改善の方向性	創発運営委員会やPO・ADのもと、審査・採択の質を担保した審査体制の構築、採択課題の適切な進捗管理を実施するとともに、研究環境改善の好事例の横展開や追加的支援の実施により研究機関の更なる取組を促進するなど、更なる効率的・効果的な事業運営に努める。																											
外部有識者の所見																												
外部有識者による点検対象外																												
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																												
事業内容の一部改善	この事業は、令和元年度より開始された事業であり、我が国の研究力が低迷している現状を打破し、研究者の研究環境を支援するため、引き続き実施すべき事業と認められる。引き続き、成果の把握方法の工夫や一層の可視化を検討すべきである。																											
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																												
執行等改善	より適切に本事業の成果を測ることが可能となるよう、活動指標及び成果指標、並びに水準の妥当性を判断できる目標値について引き続き検討を行う。																											
過去に受けた指摘事項 と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ																											
	-																											
	上記への対応状況																											
	-																											
	その他の指摘事項																											
	-																											
	上記への対応状況																											
	-																											
備考																												
-																												
関連する過去のレビューシートの事業番号																												
平成23年度	-																											
平成24年度	-																											
平成25年度	-																											
平成26年度	-																											
平成27年度	-																											
平成28年度	-																											
平成29年度	-																											
平成30年度	-																											
令和元年度	文部科学省	-	新32	-	0016																							
令和2年度	文部科学省				0202																							
令和3年度	2021	文科		20	0219																							
令和4年度	2022	文科		21	0217																							

※令和4年度実績を記入。なお、金額は単位未満を四捨五入していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省
55,404百万円

創発的研究支援事業の充実に必要な経費を補助。



A. 国立研究開発法人科学技術振興機構
創発的研究推進基金

【収入】	【支出】
補助金：55,404百万円	事業費(研究費)：4,926百万円
運用益：2百万円	事業費(研究関係費)：448百万円
前年度繰越し：65,633百万円	管理費：151百万円
国庫返納：0	
その他：32百万円	
合計：121,071百万円	合計：5,526百万円
	基金残高：115,546百万円



【随意契約・一般競争等】

B. 研究機関・企業等(全514件)
4,967百万円

創発的研究支援事業に係る研究開発及び
公募採択に係る審査・評価等に必要な物品の購入
等

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	委託研究費	4,926	物品費	フェムト秒パルスレーザー	22.1
	事業費	人件費等	406.9	消耗品費	光学素子一式	0.7
	事業費	公募採択経費等	41.3			
	管理費	管理部門経費等の共通経費の負担等	151.4			
	計		5,525.6	計		22.8
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人科学技術 振興機構	4030005012570	創発的研究推進基金を造成し、創発的研究支援事業を推進。	55,404	補助金等交付	-	-	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題A)	23	その他	-	-	-
2	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題B)	19	その他	-	-	-
3	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題C)	18	その他	-	-	-
4	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題D)	17	その他	-	-	-
5	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題E)	16	その他	-	-	-
6	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題F)	15	その他	-	-	-
7	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題G)	14	その他	-	-	-
8	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題H)	13	その他	-	-	-
9	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題I)	13	その他	-	-	-
10	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題J)	13	その他	-	-	-
11	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題K)	12	その他	-	-	-
12	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題L)	12	その他	-	-	-
13	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題M)	12	その他	-	-	-
14	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題N)	12	その他	-	-	-
15	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題O)	11	その他	-	-	-
16	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題P)	11	その他	-	-	-
17	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題Q)	11	その他	-	-	-
18	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題R)	11	その他	-	-	-
19	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題S)	11	その他	-	-	-
20	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題T)	11	その他	-	-	-
21	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題U)	11	その他	-	-	-
22	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題V)	11	その他	-	-	-
23	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題W)	10	その他	-	-	-
24	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題X)	10	その他	-	-	-
25	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題Y)	10	その他	-	-	-
26	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題Z)	10	その他	-	-	-
27	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題AA)	9	その他	-	-	-
28	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題AB)	9	その他	-	-	-
29	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題AC)	9	その他	-	-	-
30	国立大学法人東京大学	5010005007398	創発的研究支援事業に関する委託研究を実施。(随意契約(企画競争)による複数年契約、研究課題AD)	9	その他	-	-	-